

県内町村 **初** の試み

議会を代表しての質問



議会改革の新たな挑戦～町民に信頼される議会を目指して～



猪俣 恒雄 議員

予算編成の重点方針は何か
財政健全化への取り組みを最優先し編成しました

問

前年度と違い庁舎建設延期を表明した、初めての年度予算であります。今年度予算編成の重点施策を伺う。

答

平成36年度までを「財政健全化最重点期間」とし、当初予算は財政健全化に向けた取り組みを最優先し編成しました。歳出削減等により、町民の皆様にご負担をおかけするが、子育て支援等、町民生活に影響の大きい行政サービスについては継続して取り組んでまいります。

数値目標を明示した財政改革の具体策を議会に示せ

財政健全化アクションプランを作成します

問

事業見直しをする事業とその事により捻出される資金を明記した、努力目標ではなく、全職員が共有する実現可能な数値目標を明示した、財政改革の具体策を議会に示すよう要望する。

答

財政健全化アクションプランとして、細分化した事業ごとに今後10年間の歳出見込みを算出した詳細な財政シミュレーションを作成中であり、今後これを議会に示し、意見を頂戴しながら毎年見直しを実施します。

問

「会津坂下町新庁舎建設検討委員会」を再開し、役場機能の効率的な運営や防災本部等の面から検討をすべきと考えるが、所感を伺う。

答

委員会の再開は財政の健全化と明確な財政的裏付けが必要であり、出来るだけ早く、着工年度を決定し、スケジュールを基に検討委員会を再開したいと考えています。
有利な支援事業、資金調達の方法等あらゆる方面から模索し早期の建設実現に向け取り組んでいきます。

これも質問

問 町としての外国人労働者対策は。

答 受入れ企業と連携を図り、良好な労働、住環境づくりを目指します。

Q：「議会を代表しての質問」とは？

A：代表質問は、一般的に政党や会派を代表して行われます。会津坂下町議会には会派はありませんが、議会において質問する議員や内容等を調整して、議会全体を代表して質問をすることを言います。

Q：実施する目的は？

A：「議会を代表しての質問」をするため、質問内容を議会内で検討することで、議会議員同士の協議が活性化し、町政の課題を共有しつつ、より町民に信頼される議会になっていくことを目的としています。

Q：一般質問と何が違うの？

A：一般質問は、議員個人が町政に対して独自の観点で、町への政策提言をするのに対して、「議会を代表しての質問」は、議会全体の観点で、問い質すことになります。そのため、議会全体で共有する課題への重要な答弁となるため、町の代表である町長だけが答弁を行います。
質問時間は、一般質問と同じ50分で、順番は一般質問に先立って実施されます。

Q：今後も続いていくの？

A：平成31年第1回定例会からの試行であるため、実施された結果を踏まえて、次回以降も継続するか検討していきます。

一般質問

町政を問う

3月定例会では、9人の議員が一般質問を行い、2日間にわたり活発な議論を展開しました。質問と答弁を要約した内容は、12ページから15ページです。

なお、一般質問を録画した動画を町ホームページまたはYouTubeでご覧になれます。

猪俣恒雄議員（P10） 議会を代表しての質問

- 町財政の健全化について
- 庁舎建設について
- 当町において急増が予想される外国人労働者について

五十嵐一夫議員（P12上）

- 財政難に対応した人件費抑制について
- 交通安全規範意識の向上について
- 住宅火災警報器の設置の向上について

山口享議員（P12下）

- 町の財政状況について
- 教育行政について
- 県立坂下高等学校の合併による問題点について

赤城大地議員（P13上）

- 町財政の健全化について
- 公有地の跡地利用について

横山智代議員（P13下）

- 町長の政治姿勢について
- 職員の人材育成について
- 一人ひとりが大切にされる教育の現場の実現について

渡部正司議員（P14上）

- 地域コミュニティの活性化のしくみづくり
推進事業費予算縮減について

渡部順子議員（P14下）

- J R只見線利活用での、観光、物産について
- みんなが元気で安心して暮らせる町について
- 0-100安心プロジェクトについて
- 町の花 菊の推進を

佐藤宗太議員（P15上）

- 予算編成について
- コミュニティセンターの在り方について
- 空き家対策に関して町の考えは
- 人口対策について

小畑博司議員（P15下）

- 第五次振興計画後期基本計画によるまちづくりが遂行されているのか伺う
- 子育て日本一に向かって進んでいるのか伺う

※一般質問・・・議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点を質すこと。会津坂下町議会では質問答弁を含めて、1人50分以内としています。



五十嵐一夫議員

**財政難に対応した人件費の抑制を
職員数の適正管理などにより対応
していきます**

問 財政難に対応、特別職・議員・職員の報酬・給与を5〜10%削減して基金を造成しよう。

答 報酬や給与による経費の削減は、職員募集において人材が確保できない、優秀な人材が早期退職するなど、さまざまな弊害も想定されます。

また職員の「やる気」、モチベーションの低下にもつながり慎重な判断が必要です。人件費の抑制については職員数の適正管理や時間外勤務の縮小により対応していきます。

住宅火災警報器の現状は

設置率向上に努めています

問 住宅火災焼死者の減少対策に住宅火災警報器の設置に取り組み。

答 平成23年から既存住宅についても設置が義務化になりました。

市町村・消防本部が一丸となって啓発活動を実施し、設置率向上に取り組んでいます。



新しい会津坂下消防署

町営住宅の全てにおいて、平成22年に設置を完了しています、設置してから約10年が交換の目安であり平成32年度の交換を予定しています。

これも質問

問 交通安全規範意識の啓発啓蒙は。

答 交通安全関係団体と合同で交通安全の呼びかけを行っています。



山口 享議員

**財政危機宣言について
財政健全化アクションプランを
策定します**

問 平成31年度予算編成にあたって。

答 当初予算編成においては、財政健全化に向けた取り組みを最優先としております。基本的な考え方として、事業の必要性や有効性の観点から事業の優先度を設け、歳出予算の削減を行っています。また、継続事業であっても前年度と同額を予算化するのではなく、取組内容の工夫による事業費の縮減をする等、住民サービスに大きな影響がでないよう、財政状況の改善に向けた予算編成といたしました。

坂下高等学校統合について

受入れざるを得ないものであります

問 会津農林高等学校との併合はなかったのか。

答 町としましても、両校の存続に

きかけをしてまいりました。しかしながら、県において、生徒の学びのニーズや進路希望に応じた特色ある高等学



坂下高等学校

これも質問

問 生徒へのインフルエンザ予防接種

答 個人の判断で任意に接種すべき。



赤城 大地議員

補助金の考え方は

今後さらなる適正化を図って参ります

問 補助金や助成の考え方について町の考えや更なる方針について伺う。

現段階ではその考えはありません。

答 町は、公益上必要な場合において寄付または補助を行うことができますと地方自治法に定められております。町の補助金の在り方については整理合理化計画により補助の見直しなどを行っておりますが、今後もそれに基づき、運営してまいります。その基本方針としては「事業費の補助を原則とすること」「補助率の適正化を図ること」という考え方を踏襲しながら今後の計画も進めてまいります。

問 情報を得るために東京事務所を持つ、あるいは町職員を中央省庁またはシンクタンクへ出向させる考えはないか伺う。

答 現在の町の財政状況に鑑みると、東京事務所をもつことは難しいと考えます。出向についても、人材育成の面から見ても非常に有効な手段ではあると考えますが、現在、職員数の削減に取り組んでいるところであり、

国や県の公有地の跡地利用の方針は

現在のところ取得の考えはありません

問 町内にある、あるいは今後新しく出るであろう国や県の公有地の跡地利用について、今後の考え方を伺う。

答 現在、町にある国や県の公有地はいずれも数度の公売が行われておりますが、その具体的な活用方法がないため、現在のところ取得する考えはありません。

国所有地	旧法務局坂下出張所
県所有地	旧農業試験場跡地 中村区旧県営住宅跡地

町にある国県所有の一覧



横山 智代議員

県立高校再編成方針をどう考えるか

受け入れざるを得ないと考えます

問 県教育委員会が発表した県立高校の再編方針をどのように考えるか。

答 「県立高等学校改革基本計画前期実施計画」が策定され、1学年4～6学級とし、3学級以下の学校について再編整備を実施することが示されました。本町の2つの高校も、坂下高校は大沼高校と統合し、大沼高校の校舎を利用して「キャリア指導推進校」に。会津農林高校は耶麻農業高校と統合し、会津農林高校の校舎を利用して「職業教育推進校」に位置付けられます。子どもたちにとっての高等学校教育における環境基盤の整備という視点から、受け入れざるを得ないものと考えております。人口減少や少子高齢化が進行している状況にあって、町内の子どもたちが町内の



会津農林高等学校

高校で学ぶ場を確保することは、大変重要であると考えます。今後、町民の皆さんのご意見をお聞きしながら、地元高校発展に積極的に取り組んでまいります。

各課との連携状況はスムーズか

職員間の連携を図ってまいります

問 各課との横の連携はスムーズにできているか。

答 週に一度の定例課長会において、各課が抱える課題や事業の進捗状況などについて協議しており、全職員へ周知しております。今後は、定例課長会、班長会議の外に、職員研修等を通して、職員に町全体の奉仕者という意識のもと、更なる職員間の連携を図ってまいります。

これも質問

問 職員の提案の評価、実践は。

答 今年度は33の提案がありました。

問 一人ひとりが大切にされる教育は。幼少中12年間の中で育んでいます。



渡部 正司議員

対話を尽くせ、コミセンのあり方

次期振興計画で方向性を決めます

問 平成32年度からコミセン運営の委託をやめ、町直営化し、町職員を配置するとして大幅な予算縮減を計画している。この計画にあたっては、地域コミュニティ活性の方向を示さず人や地域を無視し、唐突で、対話無く一方的、強権的であり理解し難い。人材解雇にもつながる説明なき計画は容認できない。その目的は何か。

答 現在の地域づくりからさらに踏み込んだ共助の仕組みの構築が必要と考えています。このためには、現在の地域づくり推進事業の委託先であるNPO法人NIVO（ニボ）による事務局員の配置ではなく、町職員の直接的関与・支援体制が必要と考えていることから、平成32年度から段階的に、コミュニティセンターへ町職員を直接配置することで庁内調整を進めています。また、ニボ及び各地区コミュニティセンター長へは昨年9月から説明をさせていただき、本趣旨に対する御理解をいただいております。



盛況の若宮コミセン歌声喫茶

問 今回の対応は、十分な説明がなく不信を招いている。説明責任をどのように考えているか。

答 政策の大きな転換となることから、経緯を説明し、不安や疑問等にも真摯に対応してまいりました。

問 予算削減前提での議論をどう考えているか。

答 委託終了は、振興計画に関わる大きな転換であり、関係する団体等への影響は大きなものであったと思慮されます。しかし、予算ありきでなされたわけではなく、政策の転換として予算規模が縮小したものです。



渡部 順子議員

中学生の制服のあり方について

要望があればPTAと協議します

問 会津は雪国、冬でも女子中学生はスカート、元気で暮らす為にスラックスの選択も有りと思う、どちらでも選べる改正を提案します。

答 坂下中学校へ統合の時、保護者等を中心に制服検討等部会を開催し現在の制服になっておりますし、生徒や保護者からスカートに関して苦情等はないとのことであります。20年ほど前に女子生徒のスラックス採用について話題になった時期もありました。中学校では保護者の負担が増えた事や利用頻度が少ない等の理由で定着しなかったとの事です。今後、スラックス着用の要望があった場合には、PTAと協議する場を設けていきたいと考えます。

答 利活用推進と魅力の発信をしてまいります。

本町には若宮駅から坂本駅まで、4駅があり、県が発行するガイドブックに本町の歴史的観光資源や物産品など情報が掲載されます。今後も只見線利活用計画に基づき、平成33年度中の全線開通を見据えて、県や沿線自治体の担当部署、民間事業者等と連携を図り、利活用と魅力を発信します。また、駅前トイレについてもJRに対して整備費用も含めた要望活動を行い、具体的な整備時期及び財源確保に向け、調査研究を引き続き行います。

只見線、利活用の考えは

利活用推進と魅力を発信します

問 只見線利用での、観光、物産、おもてなしは。



会津坂下駅



佐藤 宗太議員

**次年度の最重要施策の考え方は
財政の健全化に向けた取り組みを
最優先しております**

問 平成30年度、最重要施策だったはずの新庁舎建設の延期が示された。次年度の最重要施策の考え方は。

答 平成31年度の当初予算編成においては、実施計画策定時に現在策定中の第六次会津坂下町振興計画の前期計画期間である平成36年度までの期間を「財政健全化最重点期間」と定めたことから、財政の健全化に向けた取り組みを最優先しております。

問 財政の健全化のために必要だと思われる事業や事業費を削減することで町民福祉の向上や町の発展が望めるのか。

答 今後においても、起債額を抑制することで将来負担の軽減を図るとともに、地方債の借入時点において償還時のシミュレーションを十分にを行い、将来的な町民福祉の向上や町の発展に結びつく財政運営を図ってまいります。



中政所にあるお試し住宅

**人口流出の抑止、若者定住策は
空き家バンク等の情報を提供し
ています**

問 町内の方であっても新たな場所
に新築もしくは中古住宅を購入
することは、人口流出の抑止になるの
で若者定住のために支援すべきと思う
が、町の考えは。

答 町内の人口流失抑制のための若
者定住支援につきましては、補
助金としての支援はありませんが、空
き家バンクにより住居情報の提供を実
施しております。



小畑 博司議員

**持続可能なまちづくりに
逆行していないか
真に必要な事業を選定し、廃止や
統合も含め見直しを図りました**

問 担い手が不足する農業を持続可
能にする政策としての中山間地
等直接支払制度と多面的支払交付金事
業を併用している地区に、どちらかを
選択せよ、とはどういうことか。持続
可能なまちづくりに逆行していないか。

答 平成36年度までを財政健全化最
重点期間と定め、全ての事業に
ついて廃止や見直しを行いました。中
山間事業と多面的事業は共通する事項
が多く含まれていることから、5行政
区につきましては、どちらかの事業を
凍結することに決定いたしました。

**学校給食の食材検査を継続せよ
食材ごとの「スクリーニング検
査」は中止します**

問 今後の原発廃炉作業が30年以上
かかると言われている。何が起
きるかわからない中では安全が担保で
きない以上、食材のスクリーニング検
査は継続すべきである。

答 これまでの検査では基準値を超
えることがまったくなかったこ
とや、市場に出回っている食材・食品
については基準値以下のものしか販売
されないことなどの理由から、4月以
降、食材ごとのスクリーニング検査は
中止します。



農地維持活動（水路清掃）

問 これも質問
待機児童の現状と対策は。
答 広域的な施設利用や弾力的運用を
図ってまいります。



三月議会を傍聴して

小野 哲

東日本大震災から8年、まさにその日3月11日でした。

地方議会で初めての試みと聞く代表質問の日でした。平成最後の町予算案に対する一般質問の初日です。財政難を理由に新庁舎建設を延期した31年度の施策の最重要課題と財政健全化に対する実現可能な数値目標の明示と財政改革の具体策を議会に示す事を求めたものと今後急増が予想される外国人労働者に対する町の対応策の二点が主題です。町長も真摯な答弁ですが町の活性化、安全安心の町づくり、人口減少対策、最も重要な財政建て直し、その答えを導き出すのは困難を極め容易ではなさそう。将来を担う世代の人口流出が加速し少子高齢化、税収不足が懸念される。協働の町づくりが振興計画に謳われて久しいが町民のニーズは日々目まぐるしく変化する。国の施策もだ。新たな広域連携として政府が検討している「圏域」構想に町政が翻

弄されそう。次期の振興計画にも少なからず影響するだろう。協働の町づくりの真髄とは何か、議会の方策があったとも考える。そんな事を考えさせられた日でした。

予算特別委員会を傍聴して

鈴木 美紗

今回初めて議会傍聴というものをさせていただいた。予想以上に細かい点まで議員さんが突っ込んでいたと感じました。

町の予算は国や県の政策も多く関わっていると感じました。子どもの医療費の無償化については国、県、町の三者が関わりあっている事があり、予算についても三者の負担となるためとても複雑だと感じました。このことは他の事業についても同様のことが言えると思います。広域消防の点に関しても、町の財源に関してだけ目を向けていては政策は成り立たないのだと思いました。

どの活動も活動が行われているかどうかだけでなく本当にその活動が必要かどうかという視点が大切だと感じました。



3月11日午後2時46分に東日本大震災において犠牲になられた方々に、哀悼とご冥福をお祈り申し上げ、黙祷を捧げました。



第1回定例会の一般質問録画配信中

議会基本条例に基づき、町民に開かれた議会を推進するため一般質問を録画配信しています。

町のホームページまたはYouTubeでご覧になれます。



議会傍聴へおいで下さい

第2回定例会は、6月6日から14日までの会期（予定）です。
一般質問は6月10日(月)、11日(火)午前10時開会予定です。

編集後記

記録的な暖冬と言ってもよい会津の冬も足早に終わり、野を見るとなにやらそわそわと、早く田畑を耕してやらねば、と思う今日この頃であります。

今定例会から試行的に導入した代表質問という取り組みは、当初は議員全員の考えがまとまるのかという意見もあったのですが、副議長が初代の代表者となり、その質問への答弁を町長がすべて行うという、重みのある討論となりました。毎定例会でやっていくには課題も多いと思われますが、まちの将来を見据えた議会の取り組みになつてくれればと願います。

(委員 五十嵐正康)

議会報編集特別委員会

委員長	猪俣 恒雄
副委員長	赤城 大地
委員	横山 智代
委員	三橋 薫
委員	五十嵐正康
委員	酒井 育子

